

弁護士 清水ヒデキの

# 豪援隊かわら版



2月号



[著者]

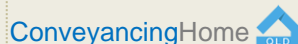
清水ヒデキ豪援隊隊長  
弁護士・移民コンサルタント  
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援  
けよう」と豪援隊発足。16歳  
で単身オーストラリアに留  
学。その後、ボンド大学を卒  
業し、QLD州弁護士資格取  
得。長年に渡り、日本人なら  
びに日系企業、世界各国の  
クライアントのコンサルタント  
業務に従事。



## インデックス

- 今月のジョーク 其の壱
- 今月の視点 その1
- 今月の視点 その2
- 今月の視点 その3
- サラリーマン川柳
- 今月の注目記事
- 今月のジョーク 其の弐
- 今月のジョーク 其の参
- 今月の生活役立つ情報
- 今月の名言・格言



## 今月のジョーク 其の壱 「息子に勉強を教えている母」

母:「えーと、じゃあ私が 1000 円もってて、お父さんが  
300 円欲しいって行ったら、私はいくらもってる？」

子:「1000 えん」

(\*お父さんにはシビアな現実。)



## 今月の視点 ケンカ野郎オーストラリア

オーストラリアは国としては、比較的若い国である。そのためか、若い国ならで  
はの勢いがあり、日本では考えられないような形で周りに喧嘩(?)をふっかけ  
る。そんな中、オーストラリアが最近起こしたケンカ沙汰事情に関して、今月は  
注目してみたいと思います。

### その1 対 中国

コロナウイルスが直接の原因というわけではないが、確かに豪中関係が一  
気に悪化したのは昨年来のコロナウイルスの拡がりからである。中国政府が中  
国人学生に対してオーストラリアへの留学を取りやめるように扇動をしたり、オ  
ーストラリア製品の輸入を禁じたり、経済的にかなりダメージを与える政策を持  
ち出しました。そんな中、オーストラリアは「やるならやってやるぞ」という態度  
で、完全に開き直っておりました。オーストラリア国民も、中国マネーが無くな  
れば、経済的に厳しいのはわかっているのにも関わらず、既に COVID の補助  
金で感覚がマヒしてしまっていたためか、「やっちゃえ、やっちゃえ状態」。しか  
も、中国が輸入しなかったロブスターが安く出回ったということで、昨年末のク  
リスマスには中国に輸出されなくてよかったロブスターの特別恩恵を受けたこ  
ろ。これが通常の経済下であれば、このような強い態度で出ることができたか  
どうかという疑問はありますが、ここまで露骨な対応するオーストラリアに何か  
爽快感さえ覚えます。

### その2 対 グーグル

中国とのケンカがまだ落ち着いていない最中、今度はオーストラリアがグー  
グル相手にケンカをはじめたというニュースが流れました。オーストラリアのニ  
ュース会社の発行するコンテンツを用いる場合には、ニュース会社にコンテンツ  
使用料を支払わなければならないという法律を制定しようとしているというこ  
と。ひょっとしたら、オーストラリアではグーグルが使えなくなる可能性もある  
のではという心配をよそに、グーグル社はオース  
トラリア政府との話し合いを進めており、一時期は  
グーグルで検索はもうできなくなるのではとい  
うことが心配されましたが、今のところはそれ  
もないようです。両者大人の会話をしながら、妥協策  
を進めているようです。



### その3 対 フェイスブック

グーグルと同様の理由でオーストラリア政府はフェイスブックともケンカをしています。こちらは、フェイスブックが一時的にオーストラリアのニュース会社のポストならびにその他政府の広告を止めてしまいました。数日間のことではありましたが、フェイスブックからオーストラリアのニュースが抹消されました。その後、両者による話し合いが進んでいるようですが、お互いに妥協点を見つけることができたということで、今回の混乱は収束を迎えることとなりました。

今回のオーストラリア政府による、世界を股にかけたケンカ騒ぎは、ある意味オーストラリアという国の存在を世界にアピールしたことになりましたが、それと同時に「長いものには巻かれぬ」オーストラリアの自己主張力の強さをうかがい知ることができました。



### サラリーマン川柳コンクール

第一生命保険は 2021 年 1 月 27 日、第 34 回『第一生命サラリーマン川柳コンクール』(以下、サラ川)応募総数 6 万 2542 句の中から全国優秀 100 句が決定したことを発表した。

『リモートで 便利な言葉 “聞こえません!”』(リモートの達人)

『「出社日は 次はいつなの？」妻の圧』(在宅ワーカー)

『テレワーク いつもと違う 父を知る』(秋乃アキ)

『倍返し 言えぬ上司に「はい」返し』(ギレン総帥)

『激論も パジャマ姿の 下半身』(王様の耳)

『十万円 見る事もなく 妻のもの』(はかなき夢)

『密ですと ますます部下は 近よらぬ』(急いで待て)

『抱き上げた 孫が一言 密ですよ』(白いカラス)

『コロナ禍が 程よく上司を ディスタンス』(大舞剛人)

『YOASOBI が 大好きと言い 父あせる』(テンビ)

『エコなのか どんどん増える マイバック』(忘れん坊)

『ソロキャンプ そもそも毎日 ソロライフ』(愛すべきソロ)

『いつだろう 同期の素顔 見れるのは』

(なんちゃって大学院生)

『嫁の呼吸 五感で感じろ! 全集中!!!』(鬼嫁一家)

『下書きの 送信キーを 猫が押し』(油断在宅)

『テレワーク 大きな子供が ひとり増え』(ミートテック)

『あつ森で 仲良くなれる 僕と妻』(指マジック)

### 今月の注目記事 コロナの影響?

<https://www.theguardian.com/australia-news/2021/feb/25/senate-to-hold-inquiry-into-australias-cruel-family-visa-system>

オーストラリアの移民政策において、長きにわたり重要視されてこなかったのが家族移住カテゴリーである。オーストラリアで永住する、またはオーストラリアの国籍を取得したのものにとって、母国に残してきた家族を呼び寄せることができるかどうかは大変重要なことであり、その手続きにかかる時間とコストはとても重要なことです。現在、家族移住のカテゴリーにおいて昨年度末の時点では 20 万人がビザの申請を待っている状態であり、親ビザに関しては 30 年の審査期間という状態である。唯一、この長い待ち時間を逃れるためには 5 万ドル近い申請料を払うことしかないというのが現状である。そして、そのような状況下にあった家族移住カテゴリーに対して議員調査委員会が発足し、このひどい現状を調査するという。長年、見捨てられてきたカテゴリーによろやくメスが入ることとなる。オーストラリアにおいては、こうした調査会が組まれる場合には、公聴会として広く業界はじめ、関係者からの意見書の提出も求められることとなる。現在のような 30 年待ちでのビザ申請が少しでも改善されることを心から望んでおります。

### 今月のジョーク 其の貳 「その時」

取り調べ室での容疑者と被害者のやり取り。

容疑者が被害者に尋ねた。

「そのとき本当におれの顔を見たのかい？」

被害者が聞き返した。

「そのときって、いつのそのときですか？」

容疑者はいら立って声を張り上げた。

「おれがあんたのハンドバッグを引ったくったときに決まっているだろ」

(日本の絶対笑える話 日本のジョークより)

## 今月のジョーク 其の参 「女の選択」

もてない男二人の会話、

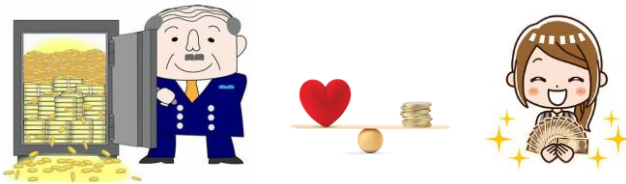
A「君が結婚したいって言ってた子だけど、どうなった？結婚できそうかい？」

B「いや、無理だった」

A「どうして？君の親父さんの莫大な財産について話さなかったのかい？」

B「話したよ。それであの子は親父と結婚したんだ」

(日本の絶対笑える話 日本のジョークより)



## 今月の生活役立つ情報

エクセルを使っている人であれば一度は、どこまでエクセル表が続くのかを気になったことがあるはずですか？。

ある男性が手動でエクセルの最深部までたどり着いた記事がありました。

ちなみに、最深部は 104 万 8576 行だそうです。到達まで 9 時間 36 分 10 秒かかったということです。お時間に余裕がある方は、一度ぜひご確認ください。

[https://gigazine.net/news/20170118-excel-challenge/?fbclid=IwAR0fmM-0m9tjip3HFHNeu31jGLivBWXhOanvJ9Sv6yZLsP1eV96N\\_ojO0](https://gigazine.net/news/20170118-excel-challenge/?fbclid=IwAR0fmM-0m9tjip3HFHNeu31jGLivBWXhOanvJ9Sv6yZLsP1eV96N_ojO0)



## 今月の名言・格言「希望」 名言集. Com より

希望さえあればどんな所にでもたどりつけると決心している。(漫画家 荒木 飛呂彦)

太陽が輝くかぎり、希望もまた輝く。(劇作家 フリードリヒ・フォン・シラー)

不幸を治す薬は、ただもう希望よりほかにない。(詩人・劇作家ウィリアム・シェイクスピア)

希望は強い勇気であり、あらたな意志である。(宗教改革者 マルティン・ルター)

希望は人を成功に導く信仰である。希望がなければ何事も成就するものではない。(ヘレン・ケラー)

希望とは世界の状態ではなく心の状態である。希望、この深く力強い感覚は、物事がうまくいっているときの喜びや成功が明らかな企業に投資する意欲などとはまったく異なるものだ。むしろ、価値があるという理由で働くことのできる能力である。(チェコ大統領 ヴァーツラフ・ハヴェル)

希望を失わないでやっていると自然と知恵も出てくる。精神が集中して、そこに色々な福音が生まれてくる。(松下 幸之助)

この世を動かす力は希望である。やがて成長して果実が得られるという希望がなければ、農夫は畑に種をまかない。(宗教改革者 マルティン・ルター)

完璧な文章などといったものは存在しない。完璧な絶望が存在しないようにね。(作家 村上春樹)

生命のあるかぎり、希望はあるものだ。(ドンキホーテから引用)



Level 17, 300 Adelaide St, Brisbane QLD 4000 E: [info@goaustralia-visa.com](mailto:info@goaustralia-visa.com)

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)

日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

[www.goaustralia-visa.com](http://www.goaustralia-visa.com)

In association with:

